

氏名	横 山 旭
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 131 号
学位授与の日付	昭和40年 9 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	発生期に於ける網膜色素上皮の電子顕微鏡による観察 第 1 編 色素顆粒の微細構造について 第 2 編 色素顆粒の発生について 第 3 編 胎生各期に於ける網膜色素上皮細胞の微細構造 について
論文審査委員	教授 奥田 観士 教授 尾曾越文亮 教授 大内 弘

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ニワトリの胎児を材料とし、超薄切片法により網膜色素上皮細胞の微細構造を追求した。

先ず色素顆粒の発生については色素顆粒は孵化 3 日目より出現し、その形成過程は、主として細胞基底部に現われる特異な胞状構造体に色素が蓄積することにより形成され、この胞状構造体は細胞質基質より形成されるものと考えられる。次に色素顆粒の微細構造については色素顆粒は固有の被膜を有し、内部構造からは、A) 薄い層板の重積せる如き規則的な構造を有するもの、B) 不規則な構造を示すもの及び、C) 無構造に見えるものの 3 型に大別される。なお一部の報告にみられる如き線維様突起は認められなかった。

Palade氏顆粒は胎生初期には無数に見られ、後半期に漸次減少する。小胞体は初期には粗面型が多く、後期には滑面型が多い。

第 I 編：日本眼科学会雑誌第 65 巻第 2 号（昭和 36 年 2 月 10 日発行）に掲載。

第 II 編：日本眼科学会雑誌第 65 巻第 6 号（昭和 36 年 6 月 10 日発行）に掲載。

第 III 編：日本眼科学会雑誌第 65 巻第 9 号（昭和 36 年 9 月 10 日発行）に掲載。

## 論文審査の結果の要旨

横山旭提出の「発生期における網膜色素上皮の電子顕微鏡による観察」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。

網膜色素上皮内のフスチン顆粒が多数の薄板の重層より成るものと微細顆粒の内部に充満せるもの、及び無構造のもの3種を区別し得ること、之等が薄膜により囲まれた小胞状構造の中に電子的高密度な物質の沈着により生ずること、又その形成過程においてはリボゾームの遊離型ものは減少し、粗面小泡体が増加して盛んな蛋白合成を想わせることを示した。又色素上皮細胞が成熟するにつれ、粗面小泡体は減少、滑面小泡体が増加し、遂にほとんど全く滑面小泡体のみとなること等を明らかにした。以上の所見より光学顕微鏡的に種々論議されたフスチン顆粒の起源に関し明確な結論を与えた。

以上の通り本論文は新らしい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授けられるべき学力を有すると認める。